

## 令和7年度 NPO チャレンジプロジェクト実施報告

事業名	NPO チャレンジプロジェクト
目的	大学生を対象とした NPO 法人での活動体験を通して、若者の NPO 活動への参加促進及び社会貢献活動への意識向上を図ることを目的とする。
プログラム	<p>DAY 1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO に関する基調講演</li> <li>・ ゲストトーク</li> <li>・ 活動体験先紹介</li> </ul> <p>DAY 2 NPO 法人での活動体験</p> <p style="padding-left: 40px;">大学生と NPO 法人のマッチングを行い活動実施</p> <p>DAY 3 参加者交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動を振り返るグループワーク</li> <li>・ 今後の NPO 参加について考える個人ワーク</li> <li>・ 個人ワークの内容を全体共有</li> </ul>
開催日時	<p>オリエンテーション 令和7年7月17日(木)15時30分～17時30分</p> <p>活動体験 ～令和7年9月下旬</p> <p>参加者交流会 令和7年9月30日(水)18時00分～20時00分</p>
開催場所	<p>オリエンテーション 高志の国文学館 研修室101</p> <p>参加者交流会 富山県民会館 704号室</p>
参加人数	参加学生数 23名
体験先 NPO 法人	<p>かもめのノート</p> <p>まなびや</p> <p>石動まっちゃプロジェクト</p> <p>グリーンツーリズムとやま</p> <p>子どもの権利支援センターばれっと</p> <p>まちづくりスポットとやま</p> <p>りばていOne</p> <p>アレッセ高岡</p> <p>ワークハウス劔</p> <p>滑川宿まちなみ保存と活用の会</p> <p>富山県レクリエーション協会</p> <p>ピース・アニマルズ・ホーム</p> <p>リボン from とやま</p>

事業内容

【DAY1】オリエンテーション 7月17日(木)

① プロジェクトスタート

開会・あいさつ

② NPOに関する講義「その思い、社会でカタチに。～NPOという選択肢～」

富山短期大学幼児教育学科・准教授／NPO法人リボン from とやま 代表  
明柴 聡史 氏

NPO とは何か、そして学生が NPO 活動に参加する意義・魅力について講義いただきました。

③ ゲストトーク「NPOチャレンジプロジェクト体験談」

原 愛美 氏（富山大学／令和6年度参加者）  
昨年度この活動に参加した感想等をお話いただきました。

④ 今後の流れについて事務局から説明

注意事項、提出物等について

⑤ 活動体験先紹介

16 団体から、各団体の活動内容等について紹介いただきました。

トークグラフィッカー®山口翔太さんより、オリエンテーションの内容をグラフィックにより可視化していただきました！

**NPOチャレンジプロジェクト DAY 1：オリエンテーション** 2025.7.17 ①

▶基調講演「その思い、社会でカタチに。～NPOという選択肢～」

阪神淡路大震災での経験  
富山短期大学 幼児教育学科 明柴 聡史 先生

●社会、自分と関係ない？  
みんなの周りに  
もれもがした  
社会の課題、  
ありますか？

社会を変えたい！  
→ NPOという  
選択肢

●NPOとは何か？  
特定非営利活動団体  
NPO  
主たる目的が  
営利ではない

●なぜNPOが注目されているのか？  
多様化する社会課題  
行政、企業だけでは  
対応しきれない  
NPO  
共感ベース、「すぐに動ける」柔軟な  
主体

●例、こどもの居場所づくり  
支援体制強化事業  
子ども食堂  
こどもも  
起点に  
地球がつながる

●NPOでカタチになる「あなたの思い」  
社会との  
タッチポイント  
持つ  
学生  
自分ごとして  
社会課題を  
見ることが  
とらえる  
現実を  
見つける  
ヒントに

●学生にとってのNPOの活動は  
矢印 → 矢印 → つながる → 変わる  
社会に  
参加  
社会に  
参加  
社会に  
参加  
社会に  
参加

●現在から未来へ  
VUCA  
子現れない  
未来  
福祉における  
3つのH  
ヘッド  
ハンド  
ハート  
新しい  
視座

## NPOチャレンジプロジェクト DAY 1：オリエンテーション

2025.7.17 ②

▶ゲストトーク「令和6年度NPOチャレンジプロジェクト体験談」



岡山大学 入文学部4年  
原 亞美 さん

### ●参加したきっかけ

「未来のことに迷っていた細い糸のあること」  
 自分で団体にアプロ-する勇気はなかった  
 いろんなときアプロ-に出会う  
 複数の団体で活動体馬鹿ができる  
 他の参加者と交流できる

### ●活動先の紹介

①アレスも高岡 (外国ルーツの子どもの学習支援)  
 ②ダイバ-シタ-マ-モの家 (フリースクール・放課後等デイサービスの運営)  
 ③たががが共創ネ-ト (子ども食堂等)

視野が広がった  
 代表に話を聞けた  
 学校、関わる機会が多くなった  
 将来を考えると参考になる  
 子ども食堂の現場を知れた  
 新たな一面

### ●活動から学んだこと

活動の想い  
 NPOだからこそ取組めること  
 挑戦、行動すること  
 大七カ

### ●参加してよかったこと

自分が何に興味があるのか矢付  
 複数の団体の体馬鹿  
 普段会うことがないような人と交流できた  
 他の参加者大生の活動  
 NPOについて学ぶ機会

### ●振り返ってみて

卒業論文を書くときに役立っている  
 就職活動に活かした  
 ニュ-ズで講義で、キーワードが自分事として考えることができる  
 面接  
 引き続きボランティアとして関わっている

## NPOチャレンジプロジェクト DAY 1：オリエンテーション

2025.7.17 ③

●かものノート

- 障害者の外出支援
- 自由にお出かけしたい!!
- 地域社会の真面目な課題の発見

●高橋・生活サポート岡山

- 言葉やコミュニケーションで困っているおのきな人
- 失語症

●ワークハウス

- 手づくりパン
- B型 事業所
- パン作り体験企画

●NPOチャレンジプロジェクトの参加団体は今回紹介した以外にも含める団体あります

●リボンfromとやま

- 家庭的保育事業
- 子ども食堂
- 学生ボランティア大募集
- 食品ロス
- 食料配布子ども食堂

●もったいないフードバンクとやま

●大空へ飛べ

- 学習や遊び支援
- 子ども食堂の遊び支援
- 居場所
- 復興支援
- コンタクト支援

●TEAM AVANTE

- 救助について
- スポーツ水辺の安全
- 地域に開かれた経験

●岡山県ウォーキング協会

- ウォーキング運動
- 大会開催
- 普及・健康・明ふい・地域づくり

●まちづくりスポットとやま

- 安全安心なまちづくり
- 地域のNPOを応援
- 人との関係

●石島まっちゃんプロジェクト

- 石動駅前、街ユ-リア
- まちづくり
- まちづくりイベント
- 課題解決
- マッチング

●アレス産房

- 外国人ルーツを持つ子どもの学習支援
- みんなのチカラもつなげる

●RACDA高岡

- 人と環境に優しいまちづくり
- 交通まちづくり
- 人育成の講座の手伝い
- まちのにぎわい

●清川筋まちなみ実行と活用会

- 滑川の旧市街
- 有形文化財の保存と活用
- 歴史のお宝まち

●ハッピーワ-マンプロジェクト

- 女性や子ども
- 若い人たちが欲しい
- 元気健康を喜ばせる
- 学生のピアとして寄り添う

●グリーンツーリズムとやま

- 都市農村交流活動
- どけいノ-ムスタイル
- 農産物販売
- マッチング

## 【DAY 2】NPO 法人での活動体験

学生が希望した NPO 法人と活動期間を調整の上、活動体験を行いました。

活動体験 DaySheet でその日の活動を振り返り記録しました。

### ■活動体験 DaySheet 内容

- ・今日実施したこと
- ・今日新しく気づいたこと、できたこと
- ・今日うまくいかなかったこと
- ・今の気持ち、感情
- ・今後学びたい内容、希望

## 【DAY 3】活動報告会 9月30日(水)

トークグラフィッカー® 山口 翔太 氏

トークグラフィック® (プログラム作成・ファシリテーション・グラフィックでの可視化)

### ① 報告会スタート

トークグラフィッカー®山口氏から自己紹介

グループ内で学生からの自己紹介



**トークグラフィッカー®**  
**ワークショップデザイナー 山口翔太**

トークグラフィック®(話し合いの可視化と問いかけ・振り返りで、会議や対話を進める技術)と  
**ワークショップデザイン**を用いて、**企業・行政・学校**の場づくり・人づくりをサポートしています。

※青山学院大学履修証明プログラム修了ワークショップデザイナー

**導入実績**

NHK ハートフォーラム NEWS PICKS Microsoft × PFAMOBRE NIPPON KOEI  
高知県 群馬県 滋賀県 富山市 氷見市 福知山市 高知県立氷見高等学校

**メディア掲載**  
東京新聞 YAHOO! JAPAN ニュース BRUTUS

©2023 TALK GRAPHICER SHOTA YAMAGUCHI 3



### ② 活動を振り返るグループワーク

個々で活動体験 DaySheet を読み返した後、振り返りシートで参加した NPO 活動で印象に残っていることを記入し、グループで共有しました。

### ③ これからの NPO 活動への参加について考える個人ワーク

学生それぞれが、今後(学生期間中や卒業後)ボランティア・NPO 活動にどのように関わっていきたいか考えました。

#### ④ 個人ワークの内容を全体共有・可視化

学生全員で円になり、③個人ワークの内容を共有しました。

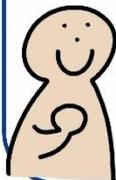
学生ひとり一人が発表する時間を設け、山口さんとやり取りしながら、ボランティア・NPO活動への想いを深掘りしました。



#### 自分の考え・想いシート

##### ①学生ができるNPO・ボランティア活動の関わり方は？

※どんな形・どんなタイミングなら関われそうか、思いついたことを書いてみてください。



##### ②今後、あなた自身がNPO・ボランティア活動にどのように関わっていきたいか？

※学生期間中や卒業後のことなど、あなた個人のイメージ・気持ちを自由に書いてください。



## ⑤ 振り返り・まとめ

グラフィックを見ながら振り返りを行いました。

### NPOチャレンジプロジェクト DAY 3：参加者交流会 2025.9.30 ①

**① 活動の振り返り**  
「参加したNPOで印象に残っていること」

**親子向けイベント**  
水遊びや学生が多い企画運営

**障害をもつ子の支援**  
障害をもつ子の親がその子だけで目を見えない人がピアを築いて利用者の交流

**子どもの支援**  
スマートフォンやテレビゲームを使わない時間が目覚める  
施設も一緒に子供も楽しませる  
子供たちも自分の力でできることに自信が持てる

**心理学的研究**  
集団認知行動療法  
交流分析を実践している場  
少しづつ自分の感情が明らかになっていく

**まちづくりイベント**  
1134名が参加した  
不登校の子供たちも参加した

**参加者の持つ価値**  
参加できる自分学生の声(アンケート)  
気軽に参加できる存在  
積極的に大きなポスト  
NPO法人に関心のある学生同士のオンライン交流会

**② 学生ができるNPO・ボランティア活動の関わり方は?**  
NPOについて知ることが得意になるイベントとして  
1日体験できる / 100に参加してみよう  
NPOの仕事  
この1日仕事かあるんだ  
1日やボランティア近しい  
夜話かな

**③ ツールとの連携**  
ボランティアから内容に興味がある  
Web SNSの活用  
入管時に知る!!  
NPOの費用負担が軽減された  
参加イベントの構成など

### NPOチャレンジプロジェクト DAY 3：参加者交流会 2025.9.30 ②

**① 今後、あなた自身がNPO・ボランティア活動にどのように関わっていききたいか?**

**学生の関わりは定期的に定期的に関わりたい!!**  
今回のプロジェクトで達成できなかったことを行ってみたい

**卒業後も定期的に関わりたい!!**  
子供たちの居場所づくり

**居場所づくりをつくりたい!!**  
他の学生イベント開催  
推進していくつもり

**参加できる自分学生の声(アンケート)**  
卒業後も参加できるイベントが求められ参加したい!!

**学生期間中に定期的に関わりたい!!**  
活動  
卒業後も参加していきたい

**地域のNPO法人の事業についてもっと知りたい!!**  
無理のない範囲で実践してほしい  
ボランティアが育つ

**NPO同士のつながりがもっと良くなり!!**  
NPO NPO NPO

**自分の興味があるコミュニティに**  
NPO NPO NPO

**在学中はNPOに協力しているサークルで活動**  
前々度で活動していたサークルのイベントの後

**卒業後も関わってほしい!!**  
卒業後も関わってほしい!!  
(新しいNPOのイベント)

**プロジェクトに参加した学生の感想(アンケート)**  
様々なNPO活動を知らなかった  
医療福祉 子ども スポーツ  
観光 など

**たくさんの方との関わり**  
知り細みの重要性も現れた  
今まで関わることができなかった分野

**直接NPOに連絡するのは勇気がいるので仲間にもっと活動体験がほしい**  
自分で連絡するハードルが高い  
アンケートを通して参加

**NPO法人について考えるきっかけになった**  
自分事として深く考える

